

J-クレジット制度の概要

- ✓ J-クレジット制度は、中小企業等の省エネ設備の導入や森林管理等による温室効果ガスの排出削減・吸収量をクレジットとして国が認証する制度であり、平成25年度より国内クレジット制度とJ-VER制度を一本化し、経済産業省・環境省・農林水産省が運営。
- ✓ 本制度により、中小企業・自治体等の省エネ・低炭素投資等を促進し、クレジットの活用による国内での資金循環を促すことで環境と経済の両立を目指す。

制度の仕組み

国

J-クレジットの認証

中小企業・自治体等

(省エネ・低炭素設備の導入等)



資金

資金循環

J-クレジット

(CO₂排出削減・吸収量)

大企業等

(J-クレジットの買い手)

メリット：カーボン・オフセット、CSR 等

クレジット認証の考え方

排出量

ベースライン排出量

排出削減量

プロジェクト実施後排出量

期間

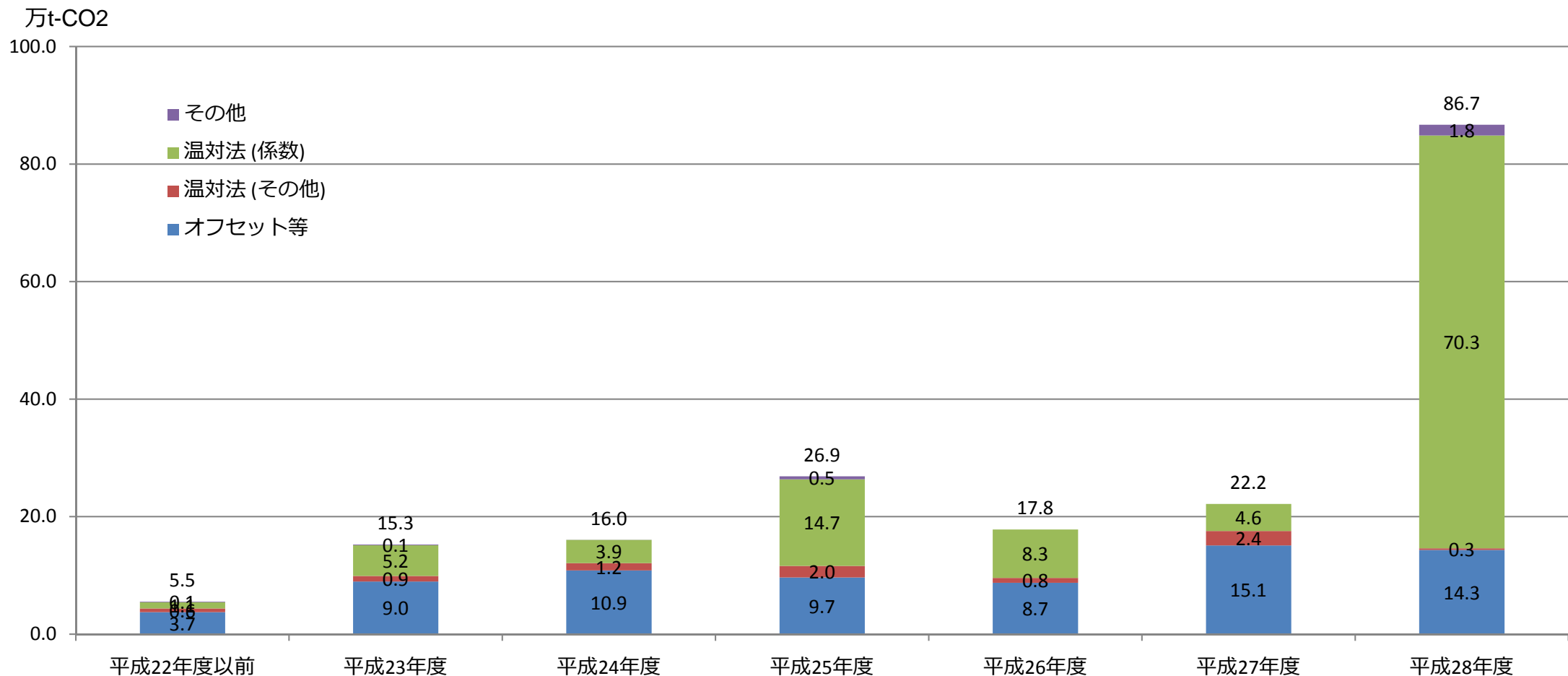
ベースラインアンドクレジット

ベースライン排出量(対策を実施しなかった場合の想定CO₂排出量)とプロジェクト実施後排出量との差である排出削減量を「J-クレジット」として認証

J-クレジット等無効化・償却状況

- カーボン・オフセットへの無効化・償却（クレジットの利用）量は堅調に推移
- 平成28年度は係数調整への利用量が著しく増大（昨年度比で約1.5倍）

<目的別 無効化・償却量の推移>



2017年3月31日時点の実績